

科目ナンバー	EDU-1-063-ky			科目名	教育と心理「教育心理学」(中等)		
教員名	奥田 雄一郎			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	現代社会においては、学校や教育の問題が重要な社会的な問題とされています。では、このような教育の問題に対して心理学という視点からはどのように考えることができるのでしょうか。 本講義では、小学校・中学校・高校・大学といった教育機関における諸問題に対して、発達心理学・教育心理学の視点からのアプローチを試みます。具体的には、知能、性格、動機づけ、評価といった問題を心理学的な視点から検討します。 そもそも、わかる"であるとか、"おしえる・おしえられる"、"まなぶ"とはどのようなことを指すのでしょうか？みなさんは今、大学で学んでいるわけですが、何故、何を、そしてどのように学んでいるのでしょうか。この講義では、上記のような問題に対して心理学の視点からどのように考えられるのかということについて皆さんと一緒に考えていきたいと思います。そのことによって心理学とは何か、心理学的に考えるとはどういうことなのか、ということをお話していきたいと思います。						
到達目標	本講義の目的は以下の3点です。 ①心理学的視点を獲得することによって、自分たちの周りの情報を鵜呑みにするのではなく科学的に自らの頭で考える力を養うこと。 ②発達理論、発達段階論、学習理論などのこれまでの心理学研究を概観することによって、発達心理学・教育心理学に対する基本的な知識を身につけること。 ③チャットや対面でのディスカッションを通して、相手の話を聞き、そして自分の考えを相手に伝えるといった、自分の意見を発信する発信力、コミュニケーション力を養うこと。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	本講義は、講義形式での座学とディスカッションを用いたアクティブラーニングから成り立っています。 各回の初めに、前回の授業での学生たちの感想を元におさらいと、授業への導入を行うことによって、履修生の質問や感想に対するフィードバックを行います。その後、講義、またはディスカッションを行います。 ディスカッションでは、スマホなどを使ってチャットを使用したインターネット上の議論や、実際に対面でのグループディスカッションを行います。 最後に、その回の内容について5問程度の確認問題を行います。 各回の授業には終了から次の授業までに、その回の授業を自分でリフレクションした「授業についての感想」をメールで送ってもらいます。 本講義は、各回が講義を中心としたAcademic modeと、ディスカッションなどを中心としたPractice mode の回に振り分けられています。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	特にありません						
アセスメントポリシー及び評価方法	定期試験(70%)授業への参加度(30%)						
教材	授業に必要な資料は授業時間に配布します。チャットを使ったディスカッションを行うため、スマートフォン、タブレット、PC、Macなどのインターネットに接続可能なモバイル端末を準備してください。						
	中澤潤(編) 2008 よくわかる教育心理学 ミネルヴァ書店 多鹿秀継 2010 教育心理学—より充実した学びのために サイエンス社 ピアジェ,J 谷村覚 浜田寿美男(翻訳) 1978 知能の誕生 ミネルヴァ書房 ヴィゴツキー,L,S, 柴田義松(翻訳) 2001 思考と言語 新読書社 ヴィゴツキー,L,S, 柴田義松(翻訳) 2005 ヴィゴツキー 教育心理学講義 新読書社 ブルーナー,J,S, 1986 教育の過程 岩波書店 ブルデュー,P. 1991 再生産〔教育・社会・文化〕藤原書店 レイヴ,J. ウェンガー,E. 福島真人(翻訳) 1993 状況に埋め込まれた学習—正統的周辺参加 産業図書 山内祐平ら 2010 学びの空間が大学を変える ボイックス株式会社 美馬のゆり 山内祐平 2005 「未来の学び」をデザインする—空間・活動・共同体 東京大学出版会						

参考図書	茂木一司,ら 2010 協同と表現のワークショップー学びのための環境のデザイン 東信堂 中野民夫 2001 ワークショップー新しい学びと創造の場 岩波新書 森田洋司 2010 いじめとは何かー教室の問題、社会の問題 中公新書 内藤朝雄 2009 いじめの構造ーなぜ人が怪物になるのか 講談社現代新書 溝上慎一 2001 大学生の自己と生き方ー大学生固有の意味世界に迫る大学生心理学 ナカニシヤ出版 溝上慎一(編) 2002 大学生論 ナカニシヤ出版 溝上慎一 2008 自己形成の心理学ー他者の森をかけ抜けて自己になる 世界思想社 山鳥重 2002 「わかる」とはどういうことかー認識の脳科学 ちくま新書 増田晶文 2003 大学は学生に何ができるかー「学生を元気にさせる」大学改革とは プレジデント社 波多野 誼余夫 稲垣 佳世子 1981 無気力の心理学ーやりがいの条件 中公新書 波多野 誼余夫 稲垣 佳世子 1973 知的好奇心 中公新書 諏訪哲二 2007 なぜ勉強させるのか?教育再生を根本から考える 光文社新書 重松清 2004 教育とはなんだ 筑摩書 房莉谷剛彦 2009 教育と平等ー大衆教育社会はいかに生成したか 中公新書 植島啓司 2003 「頭がよい」って何だろうーひらめき問題から探る 集英社新書 莉谷剛彦 濱名陽子 木村涼子 酒井朗 2010 教育の社会学ー<常識>の問い方,見直し方 有斐閣アルマ 佐藤公治 1999 対話の中の学びと成長(認識と文化) 金子書房 ルソー,J.J.(著) 今野一雄(訳) 1962 エミール(上・中・下) 岩波文庫 茂木俊彦 1990 障害児と教育 岩波新書 柏木恵子 2001 子どもという価値ー少子化時代の女性の心理 中公新書 竹中均 2008 自閉症の社会学ーもう一つのコミュニケーション論 世界思想社 計見一雄 2004 統合失調症あるいは精神分裂病ー精神病学の虚実 講談社選書メチエ 杉山登志郎 2007 発達障害の子どもたち 講談社現代新書
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	オリエンテーション 本講義では教育と心理という授業について、講義の概要、到達目標、教授法、評価方法、各回の内容についてのオリエンテーションを行う。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	0.5
2週目			
授業学修内容	心理学って何?(Academic mode) 教育心理学という心理学を学ぶ前に、そもそも心理学とは何か、心理学という学問はいかなる対象に対して、どのようにアプローチする学問なのかということについての講義を行う。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	0.5
3週目			
授業学修内容	教育心理学って何?(Academic mode) 心理学の中でも特に教育心理学に特化し、教育心理学の歴史、これまでの研究の知見を概観することにより、教育心理学的な視点を理解する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	0.5
4週目			
授業学修内容	なんで勉強しなきゃいけないの? (Practice mode) 教育の基本として、なぜ勉強をしなければいけないのかに焦点を当てる。特に、ディスカッションを行うことにより他者と共に考察する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	0.5
5週目			
授業学修内容	で、勉強って何?(Practice mode) 教育の基本として、そもそも勉強とは何なのかに焦点を当てる。特に学習心理学の視点から、心理学における学習研究を概観する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	0.5
6週目			
	いい先生、わるい先生?(Practice mode)		

授業学修内容	教育を行う実践者としての教員に焦点を当てる。社会問題化している教員の資質について省察し、教員とはいかなる者なのかを考察する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	頭がいいって、どういうこと?(Practice mode) 教育の生産物としての知能に焦点を当てる。特に、ビネーを中心とした心理学における従来の知能研究を概観する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	これまでのまとめと学習履歴のリフレクションを行い、教育心理学に関する知識の定着を図る。		
授業外学修内容	1回目から7回目までの授業を振り返り、それぞれの学習要素を各自が習得できているか、自らリフレクションを行う。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	どうしたらやる気が出る?(Academic mode) 学習の前提としての動機づけに焦点化する。パプロフに始まる動機づけ研究を概観し、生徒・学生の意欲・動機づけについて考察する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	障がいのある子どもたちへの対応(Academic mode) 近年教育機関において問題化している発達障害を中心とした障害の問題に焦点化し、その対応、関わり方について検討する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	評価って、どうしたらいいの?(Practice mode) 学習の成果に対する評価の問題に焦点化し、多様化する学びをどのように評価するのかについて、心理学的な視点から検討する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	いじめはどうしたら解決する?(Practice mode) 教育機関において問題化しているいじめの問題に焦点を当て、いじめの形態の変遷、その要因、対応策について検討する。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	大学における学び(Practice mode) 近年における高等教育の学習観の変化を概観し、先進事例を紹介する。その上で、自ら高等教育で学ぶ学習主体として、いかなる学びが可能化をディスカッションします。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	学生によるプレゼンテーション 学生の立候補により1年生から4年生の学生たちに、自らの関心、活動についてプレゼンテーションを行ってもらう。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	今日における教育の課題(これまでのまとめとリフレクション) 教育と心理、という授業のまとめとして、第1回から第14回までの授業を振り返り、その到達点、課題について再考する。		

授業外学修内容	これまでの授業を振り返り、試験に向けた学習を行う。	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		24.5	
その他に必要な自習時間		65.5	

Number	EDU-1-063-ky	Subject	Educational Psychology (Secondary)		
Name	奥田 雄一郎 (Okuda Yuichiro)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>In modern society, problems in schools and education are seen as serious social issues. How can we think about these problems in education from the viewpoint of psychology? In this course, we will try to approach problems in educational institutions such as elementary schools, middle schools, high schools, and universities from the viewpoints of developmental psychology and educational psychology. Specifically, we will investigate problems in intelligence, personality, motivation, and evaluation from a psychological viewpoint. What do "understand", "teach", "be taught", and "learn" even mean in the first place? Now, everyone in this course is studying at a college, but why, what, and how are we learning? In this course, we will think together about what can be thought regarding the above problems from the viewpoint of psychology. By doing so, we will consider what psychology is, and what it means to think psychologically.</p>				